



# Fグループ会報

## 2000年度 Fグループ同窓会総会 開催される

5月28日日曜の午後、横浜崎陽軒本店にて2000年度総会が開かれ、小塩学院長、渡邊音楽学部長はじめ現職の先生方、初々しい新卒生など総勢71名が出席しました。



▲小塩節学院長



▲渡邊明学部長

◀役員の報告を真剣にきく  
卒業生  
ふむふむ...より充実した  
活動を期待しています。

▲秋岡陽先生

昨日も楽理学科卒業生  
の会(Adagietto)に出席させていただきました。同窓会に皆勤  
です!

宗施月子先生  
器楽学科は、専攻楽器が増えました。  
受験生を多く募集しています……

## 音楽学部の現況と今後

音楽学部長 渡邊 明

すでに周知のように、現今の大学の置かれた環境には少子化と不況の中で極めて深刻なことがあります。

本年、2000年度の音楽学部入学試験の応募者数は、1999年度比で声楽は-33%、器楽は-19%、楽理は-20%でした。これは本学部だけのことではなく、ほとんどの音楽大学が30%程度の減数となっているようです。この現実を踏まえて、声楽はB日程を行うことにより、前年度並みの数を確保しました。器楽は楽器の専攻を増やすことによりなんとか同じ成果を得ることが出来ました。

このことの本質の背景にある抜本的な問題に対し、目

下大学では「教育改革」が全学的規模で模索されています。その問題のひとつは「学生の大衆化現象」です。

これは、少子化による大学全入学時代は学生の大衆化を意味すると同時に、大学の二極化つまり選別と大学に対する評価基準が強化されることを意味するということです。

そしてもうひとつは「学生の質的変化」です。これは大学が大衆化すると共に、大学に対する学生の受け止め方も当然異なってくるということです。

以上に対する具体的な対策として、次のような方向性が示されました。

- 1) 大衆化現象にたいしては、大学の個性を鮮明に打ち出すこと。
- 2) 質的变化に対しては教育方法の改善。
- 3) 学生に対する心のケア。

これらのことについて、音楽学部ではどの様に考えるかですが、1)の「個性を鮮明に打ち出す」については、不易流行という言葉で替えるなら、それは不易に当たるものと考えます。つまり1888年(明治21年)モルトン女史によって、本格的な西洋クラシック音楽がフェリスにもたらされて以来一貫して追い求めて来たものは、不易なものとして今後も音楽学部の教育の核となるでしょう。

2)の「教育方法の改善」については、流行つまり今というものに対してどの様に反応するかであると考えます。

具体的には、教育テクニックの啓発、大学人に限らない多彩な講師陣の採用そして特に生涯教育(幼時音楽教育や社会人に対する生涯学習)への積極的な取り組みと拡充がますます重要なになってくると思われます。

3)については、大学の大衆化現象に伴い大学は今後多様な学生の悩める集合体となることが考えられます。

それだけに学生に対するきめ細やかな心のケアが重要なことになってくるでしょう。

いずれにしてもこの様な大きな問題は、ひとり大学だけで成し得るものではありません。少なくとも卒業生やご父母の方々の情報や知恵が必要となります。21世紀の教育を考える時、大学と同窓会は新たな深い関係が求められる様に思われます。

### 任期満了に伴う Fグループ会長選挙の お知らせ

2000年度末に任期満了となります同窓会会長の後任は会則に基づき選挙によって選出されます。

会長のお役目は卒業生全員の代表として会の発展と母校創立の精神を尊重し全員相互の親睦と発展に尽力を頂くことがあります。歴代の会長は献身的な奉仕の精神でこの任務を果たして下さり、今日のFグループが存在するのだと思います。次期会長もその精神を引き継ぎ存分にお働き頂けるものと期待して居ります。

私こそと思われる方、この人こそと、ご推薦下さる方は選挙管理委員会の方へご一報頂きたいたいと思います。規約に従って立候補の手続きをしていただきます。

- 立候補の届出期日

2001年2月15日(当日消印有効)

- 選挙管理委員会(2000年5月選出)

委員長 田辺静子(10回)

委員 西松圭子(13回) 西川美子(15回)

伊東晴子(20回) 阿部紀代美(22回)

- お問い合わせ 田辺静子

No.29

〒231-8651 横浜市中区山手町68  
フェリス女学院大学  
音楽学部同窓会 Fグループ

### ミレニアムを迎えて

Fグループ副会長 大谷園子

Fグループの皆さま、お健やかにお過ごしでしょうか。

私たちの母校フェリス女学院は今年、創立130周年・音楽学部開設10周年を迎えました。今年はまたミレニアムの年、新しい世纪に向かって足を踏み出そうとする20世紀最後の年でもあります。

この節目の時期にあたり、音楽学部は器楽学科の定員拡充、専攻楽器の多様化をはじめ、少子化や国際化といった新しい時代状況への積極的対応に取り組んでいます。

私どもはフェリスで、内容のある心のかよった音楽教育を受けて卒業しました。たとえ校舎は変わりカリキュラムは新しくなっても、質の高い音楽教育の良き伝統が生きづけていくことを願うものです。

そのためにも、Fグループの皆さまが、グローバル化の時代に向けて飛躍途上にある母校に対して思いを新たにしてください、暖かいご支援・ご協力を寄せくださいますよう、お願い申し上げます。

総会に出席された卒業生の中から  
一部紹介します



先生方から学校の近況をたくさんうかがえて良かったわー

今日のイタリアン・コースメニュー良かったわよネエ。  
崎陽軒で中華レストランじゃなかったっけー??ファーツしぶり、なつかしいわ。お互いに変わった?  
変わらない? (ご想像におまかせします)家族の食事も今日は準備してきたし、さあ、本日の  
二次会はどこですか?



## 中田喜直先生の思い出

石井美智子（6回）

私が中田先生にお目にかかったのは昭和28年4月フェリス女学院短期大学音楽科に入学し、実用和声という時間に作曲の初步をならった時からです。もう48年も前の事です。

私達のクラスはとてもはっきりした元気の良い生徒ばかりで、優しくてハスキーな先生の声を授業中笑って、板書している先生を「僕の背中に何かついている？」と振り向かせたり授業をとめたり随分困らせるような事もしました。先生慣れしていないそんな雰囲気を私はちょっぴり好きになりました。そして夏休みにはいつも葉書で、ご機嫌を伺いますと必ずお返事を下さったのです。とても嬉しかったの覚えています。



御殿場二ノ岡荘で合宿、先生に角は一えた！

三宅先生がドツから帰られてコーラスを始めました。その合宿が御殿場の二ノ岡되었습니다。

コーラスの練習をしたり自炊をしてそれはそれは楽しい思い出です。

中田先生が遊びに来られ皆で乙女峠へ行く事になって、中田先生が行こうか行くまいか迷っていたらの思い出します。壁に張られた予定表のすみっこに「お嫁さん募集中！」と書いてありました。それから数年して下級生の幸子さんと御結婚されました。

「サッチ（中田幸子さん）と結婚したら半ちゃん（私）手紙をくれなくなったりよ」と云っていた事等中田幸子さんから大分前にお聞きしました。

フェリス女声合唱団が10年たって日本女声合唱団と改名して下さったのも中田先生です。私はその合唱団で40年歌い続けました。勿論先生の作曲された「アダムとイブ」や「みえないもの」等初演しています。

メロディが美しく日本語の発音と出しやすい音域を心得、叙情的で本当に素晴らしい曲ばかりです。

私は合唱も好きでしたがソロの勉強もずっとしてきました。「サルビア」「むこうむこう」「霧と話した」は私の愛唱歌です。2000年10月5日のフェリスの Tea Time Concert では「ほしとたんぽぽ」を歌います。

私の娘石井祐子も先生の歌曲が大好きで歌わせて頂いています。日本歌曲コンクール入選の折りに「おもちゃのうた」7曲を歌い、日仏声楽コンクールで「樹の花」を歌って日本歌曲賞を頂きました。

こうして私から娘へと中田先生の歌曲は歌いつがれています。

## きのうのこと

中島恭子・林美穂子・許斐美沙（9回）

先生の想い出を、ことある間に私達が書く事になりますと、この様になります。

●ご講義前の身嗜み。教室後方の入り口近くで、真剣なお顔で、ご丁寧に髪をとかしていらしたお姿を、拝見する事屡々でした。特に初講義の日のお姿は、目に鮮明に

# 中田喜直先生やすらかに

音楽学部名誉教授でいらっしゃる作曲家、中田喜直先生が、去る5月3日、天に召されました。先生は著名な作曲家として多忙な日々を送られながらも、40年もの長い間、「実用和声」などの講座を通して、音楽の美しさ、気高さを私たちに教えて下さいました。シャレ好きだった先生、地球の環境保護について熱弁された先生など、その楽しいお人柄、そして何よりも先生の数々の作品は、多くの卒業生を魅了してきました。ここに、生前のご指導に感謝を申し上げるとともに、謹んで哀悼の意を表します。

残っております。●後に刊行される「実用和声」成立への貢献。あれ程高度な内容を、あれ程平易に書かれた原因は、偏に私達の理解力の低さ故、と自負しております。●外人墓地散歩と喫茶店。授業中、お散歩と称して、外人墓地へ何度も連れて頂いたでしょうか。又、放課後、元町ジャーマン・ベーカリーへと繰り出し、ケーキを分け合いながら、よくお喋りしました。

卒業後「あの頃の僕の給料は、殆どそこで消えたよ」とのお言葉もありました。●伝説の写真。(上) 専攻科も終わり頃、洋一郎先生、中田先生をお誘いし、旅行した時



伝説の写真

人柄で包んでいらっしゃる先生の、ほんの一分ですが思い出してみました。先生のお人柄と音楽は、私達の心と耳から決して消える事はありません。有り難うございました。

## みんなの心に残る歌

大庭照子（10回）

中田喜直先生ほど、すべての民衆の心に残る歌をつくった作曲家はないと思う。この1ヶ月、追悼の意を込めて先生の曲を歌っているが、観客と一緒に口ずさむ姿を見て、あらためてそう感じる。

先生の歌は、歌詞の通りにメロディーがのっていて歌いやすく、奥が深い。「子供のためとか、大人のためとか考えて作曲はしない。詩にふさわしいメロディーが自然に出てくるのであって、いかにも素晴らしい詩に出会うかが大切なんだ」と先生はいつも言われていた。先生にとって、サトウハチロー氏と出会えたことが幸運だったようだ。

私は昭和32年、先生が教授を務めていらっしゃるフェリス女学院短大音楽科に入学した。先生は、すでに「夏の思い出」「雪の降る町」「めだかの学校」などの作曲家で有名だった。



昨年秋フェリスホールでの研修会から

初めての授業の時、皆でワクワクしながら先生をお待ちしていた事が昨日のことのように懐かしく思い出される。また、私の大好きだった1年先輩の中島幸子さんと結婚されると知った時はうれしかった。私の恩師でフェリス女学院短大音楽科の創立者である三宅洋一郎・春恵先生ご夫妻の媒約による結婚式は和やかで素晴らしい。

先生が、がんの告知を受けられたのは1昨年の9月。約2年間、先生は信じられないような自然体でがんを受け止めておられた。告知直後、夫人はショックで一時声が出なくなったり、力強く立ち直り、先生と共に歩まれる日々は感動的だった。

先生は亡くなられる1ヶ月前、肺炎をおこして入院。私は亡くなられる前日まで毎日のように夫人と電話で話をしたが、先生が自分の最後を見据えて、夫人に自分の気持ちを素直に語られていることを強く感じた。

先生はある日、お医者さまに「これからだれにも会いたくない。妻にだけ看取（みと）られて死にたい。延命治療はしないでほしい」と言われたそうである。亡くなられた夜、先生が夫人の手を握ったまま静かに息をひきとられた事を聞いた。悲しみと疲れで夫人の声はかすれていたが、中田先生への深い愛と尊敬にあふれていた。

昨年12月5日、東京でご夫妻にごちそうになった。それが先生とのお別れになったが、楽しいお話をいっぱいすることができた。「サッチ（夫人）と結婚できて本当によかったよ」とお笑いになった豊かな表情が忘れない。

(6月10日熊本日日新聞より)



のものです。この帰り道に先生はサッチ（奥様）の所に途中下車されました。この時プロポーズなさったと、私達の間では、信じられています。

●シャレ（駄？）のお好きな先生。先生のお話の中には、沢山のシャレが有りました。ご病院中でも「点滴は天敵だ！」

などとおしゃって、懸命にご看護の奥様に、笑いと教いをお与えになった、と伺います。音やハーモニーの追求には、妥協なさなかった厳しさ、激しい性格（思い掛けない事に、ボクシング親戦がお好きだったとか）を、あの和やかなご表情と表現、そして明るく楽しいお

## Fグループ

支

部

だ

よ

り

## f 北支部

支部長 工藤 羊子(30回)

副支部長 福井 直美(20回) 平岩由美子(24回)

北海道、東北地区の北支部からのお便りです。

以前より計画していました、仙台市での大学説明会は準備が整わず、今年は実現できなくなりました。前回、先生方に来て頂き説明会を行った北海道、札幌とは異なり、宮城の方では、フェリス女学院大学の名前もよくしられています。そこで、説明会は流れてしましましたが、手分けをして、高校、受験生を持っている先生達などに大学案内のパンフレットを渡そうということとなりました。今年度もチエロ、楽理など、何名かの同窓生の生徒がフェリスに入学しています。管楽器の科が新設されたりしていますので、北海道でも、高校のプラスバンド顧問の先生などに、機会をみつけて、声をかけようと思っています。

さて、北海道地区ですが、札幌でピアノ科黒川先生の演奏会、レッスンを企画しています。昨年、話し合いを進めていた、ヤマハの店長さんが、退職されて、中途なものとなっていましたが、ようやく先へと進めそうです。ここ何年かの転入、転出も多いので、久しぶりに全道の同窓会を9月に開く予定です。札幌に来るには、片道8時間程かかる方も何人かいるのですが、何とか多くの同窓生に集まさせていただきたいと願っています。

最後に、札幌の音楽情報を探します。札幌コンサートホールでは毎年「札幌古楽の夏音楽祭セミナー」を開催しています。今年は8月23日~27日の5日間。毎日朝から夜のコンサートまで、ルネッサンス・バロックの音楽とダンス演じとなります。楽器は古楽器全般、その他、ダンス、歌での受講ができ、アンサンブルも勉強できます。ちなみに私は、バロックダンス、チエンバロなどで受講し、歌、ヴァイオリン、リコーダーなどとアンサンブルを経験しました。さわやかな夏の札幌で、古楽に浸ってみませんか。私は毎回「目から鱗」状態で、40代になってからも、この様に新鮮な気持ちで勉強できるということに、自分でも驚いています。興味を持たれた方は私の方にご連絡下さい。(宿泊施設もあるので、遠くからの参加もOKです。)

報告／工藤 羊子

## クリスマス礼拝のご案内

日 時 12月9日(土) 13:30~

会 場 フェリスホール

説教者 森本直人先生

(フェリス女学院大学チャプレン)

主 催 フェリス女学院全同窓会  
(りてら・りべるて・白鶲会・  
Fグループ)

恒例となりましたクリスマス礼拝。今年はフェリスホールで行います。現在、音楽礼拝を企画中です。皆様と讃美歌をホール一杯響かせましょう。どうぞ家族・お友達お誘い合わせ、是非お出かけ下さい。

尚、昨年のクリスマス献金は、460,000円でした。

献金先

日本ユニセフ協会	115,000円
日本キリスト教協議会奉仕部	115,000円
(台湾大地震救援金として)	
日本医療伝導会衣笠病院	115,000円
日本キリスト教海外医療協力会	115,000円

フェリス女学院全同窓会

## f 中部支部

支部長 鞠澤 紗子(14回)

副支部長 牛込 まり(25回) 豊谷 恵子(36回)

会 計 須田美奈子(34回) 森 純子(45回)

ジュニアコンサート委員

都筑 典子(23回) 大庭千恵美(25回)

小池 香織(43回)

豊谷 恵子(副支部長兼)

同窓会名簿委員

伴野さちこ(21回) 安藤 和美(45回)

99年度の中部支部は12名の卒業生による“ふれっしょコンサート”で始まりました。

初々しい華やかなドレスに身を包むこのコンサートは、演奏会としての一歩を迎えた皆さんの大切な「始めの一歩」のコンサートです。どうか今年の出演者の皆さんも多く喜びを持って演奏して頂きたいです。

また新しい試みとして“金城学院卒業生による”と題した、同じ出身高校の卒業生を集めたコンサートを行いました。初めての試みでしたが、今後も同じ高校の出身者を集めコンサートを企画して行きたいと考えております。

そして、秋のコンサート“大作曲家初めての作品：Op.1”はほぼ満席の大盛況で、99年のコンサートを締めくくる事が出来ました。

さあ、今年はどんな一年になるでしょうか？秋には中田喜直先生の作品を集めてコンサートを企画しております。中部支部一同、ご冥福をお祈りして……。

報告／森 純子

## f 関西支部

支部長 川岸 裕子(16回)

副支部長 岩崎 直(17回) 加藤 朋子(17回)

関西支部では、5月12日同窓会を持ちました。現在135名の同窓生が京阪神を中心に、名古屋以西の本州と四国に在住しています。足の便が良いようにと新神戸駅近くのホテルで会食し、その後ローブウェアで神戸布引ハーブ園までのボリ、美しいハーブの香りに包まれた園を散策しました。爽やかな五月晴れのもと、出席者10名でしたが、お囃りとハーブの花々、香りを楽しみながら旧交を温め了一日でした。



ハーブ園にて

関西支部は発足から6年と浅く、様々な理由でFグループの音楽活動が出来にくい状態にあり、それが大きな悩みもあります。今回同窓生の皆様のお話を伺ってみる

と、卒業後、子育ての時期を経て一人一人が自分の道を見つけ今を活き活きと楽しんでいらっしゃる様子でした。永年、音楽教育に携わっている方、新しい土地で新しい仲間を見つけてグループを作り演奏している方、またいくつものグループを組んで、アンサンブルの素練らしい音の響き、醍醐味を満喫している方等、多くの方が学生時代に培われた音楽の技術や感性を大切にして日々過ごしていることが分かり、音楽のもつ広がりを改めて実感しました。この事は今後の活動の上で皆様の大きな励みになることと思います。まずは関西支部同窓生個々の音楽活動をお互いに知り合う事から始めたいと思います。皆様の活動情報等是非ご一報下さい。

報告／岩崎 直

## f 九州支部

支部長 伊藤 和子(24回)

副支部長 大賀 真(28回)

会 計 市岡 洋子(30回) 太田みどり(31回)

書 記 村上 京子(24回) 小野 直子(33回)

常任幹事 池田 良子(20回) 長 千英子(23回)

安波 裕子(24回) 永田 弓子(26回)

同窓生の皆様、御健勝でお過ごしの事と存じます。

九州支部は以前に比べますと、ずいぶん卒業生が減ってしまった、少々寂しさを感じずにはおられませんが、研鑽を積んでおられる方々には、いくらかでもお手伝いを、又これから音大へと考えておられる方々へは、フェリスの情報の御提供が出来ればと考えております。



岡島先生も笑顔でハイ、チーズ!!

さて、今年度の同窓会（ミニ・コンサート、総会、会食）は去る6月8日（木）にグランド・ハイアット・福岡で行ないました。出席者は30名足らずでしたが、とても素晴らしいお部屋、そしてそれは美味しいワインと食事の中、学年が異なる皆様がそれぞれのテーブル毎、楽しく会話をされ良い雰囲気で共に過す事が出来ました。

大学から岡島雅興先生をお迎えして、大学の特に音楽学部の現在の状況をお伺いする事が出来、とても嬉しいと思いました。更に実力ある大学として発展していく中で頑張っておられる学生の皆さんに恥ずかしくない様に卒業生として、しっかり生きて行かなければと思持ちを新たに致しました。ミニ・コンサートでは新卒のピアノの木村真理子さんをはじめ、36回卒の声楽の遠藤理恵さん、37回卒のフルートの福泉勝栄さん、ピアノ伴奏を33回卒の小野直子さんにそれぞれ思い入れのある曲を演奏していただき、うっとりと聴かせて頂きました。

総会の中で、同窓会を毎年開く事は無理な年もあるかも知れないと言話のうち、やはり出来る限り一年一回、皆様にお会いしたいと会が終わった後、実感致しました。

報告／伊藤 和子

## ～・～・～創立130周年記念事業・募金のお願い～・～・～

・事業 1) 中高新区校舎建築（建て替え）

2) 大学新図書館棟、新文学部棟建築  
(緑園キャンパス)

・詳細・お問い合わせ

法人本部 〒231-8660 横浜市中区山下町178 TEL: 045 (662) 4511

・目標額 6億円

・期間 1999年3月より2004年2月まで

## Fグループ Joint Concert

日 時 9月23日(土) 14:00 開演  
 場 所 フェリスホール(山手校舎)  
 会 費 2,000円  
 出演者 声 楽 一山下美樹(49回) 伴奏(小野薫子(46回))  
           ピアノ 一蓬田恵里(45回)  
           声 楽 一伊藤和子(24回) 伴奏(谷口直子(26回))  
           ピアノ 一高木麻里(41回)  
           フルート三重奏 一國吉八重子・清水麻衣子  
                           永瀬愛(49回)  
           ピアノ 一増矢馨子(38回)  
           声楽・アンサンブル フィオレッティ オルガン 佐藤雅枝(45回)  
 お問合せ 企画委員 井上真記子  
 Fグループ事務局 T/F 045(681)6740

## Fグループ 研修会

### ~打楽器の魅力~

講 師 吉原 すみれ 先生  
 日 時 11月11日(土) 18:30~  
 場 所 フェリスホール(山手校舎)  
 会 費 1,000円  
 お問合せ 企画委員 比留間和子  
 Fグループ事務局 T/F 045(681)6740

## 慶祝

中島省吾理事長  
 勲三等旭日中綬章(私学振興功労)受賞  
 小塩節学院長  
 第51回日本放送協会文化賞受賞  
 遠藤剛史先生(フルート・本学講師)  
 芸術祭優秀賞受賞  
 板倉康明先生(クラリネット・本学講師)  
 中島健蔵賞受賞  
 田口涼子(48回)  
 第8回音楽と地球・器楽奏者と作曲家のための  
 国際コンクール ピアノソロ部門 優勝  
 佐藤礼子(45回)  
 Air Schnitger(17世紀オルガン建造家)  
 記念国際オルガンコンクール入選  
 松原葉子(45回)  
 立教大学教会音楽研究所教会音楽作曲コンクール  
 3位入賞(1位なし)

小島久美子(49回)  
 第18回ソレイユ新人オーディション 入選

## 弔意

1999年12月17日 山中(旧三輪)朋子(16回)ご逝去  
 2000年5月3日 中田喜直名誉教授 ご逝去  
 2000年6月11日 多田光子先生 ご逝去  
 (2000年7月現在 連絡があった方のみ)

## 事務局だより

- ◆住所・電話・姓などの変更は旧姓・整理番号(宛名ラベル右上「000M000」)とあわせて事務局までお知らせ下さい。又、同封の不明者リストの中に連絡先をご存じの方がいらっしゃいましたら同様にお知らせ下さい。
- ◆同窓会室1階はピアノもあり、クラス会、ミニコンサート、練習等にお使いいただけます。50名収容可能で使用料は無料です。ご予定のある方はご連絡下さい。
- ◆宛名ラベルの印刷を1枚(24面)80円で承っております。クラス会のお知らせ等、発送の折にご利用下さい。
- ◆慶弔連絡のお願い 同窓生で賞をいただいた方、あるいはお亡くなりになった方がいらっしゃいましたらご一報下さい。

事務局の開室は 毎週木曜日 10:00~17:00  
 TEL・FAX 045(681)6740

## Fグループ ティータイムコンサート

“お茶とお菓子と音楽と…”  
 美味しいお菓子とお茶を頂きながら、素敵な音楽とおしゃべりを楽しみにいらっしゃいませんか?

歌とお話 石井美智子(6回) ピアノー小倉一美(30回)  
 ほしとたんぽぽ(中田喜直作曲)  
 葉てられし乙女(ブフィッツナー作曲)他  
 お 話 城所恵子(7回)  
 「音楽科で習わなかった音楽」  
 日 時 10月5日(木) 14:30~16:00  
 場 所 山手6号館第1別館 同窓会館1Fホール  
 会 費 1,000円(含茶菓代)  
 9月5日より申込先着 50名  
 お問合せ・申し込み  
 企画委員 柴田美和子

## Fグループ 後援演奏会

('99.12~'00.7)

- ・アンサンブルF アカペラコンサート99  
 村田晶乃(8回) 斎藤令子(11回) 桑島美穂(28回)  
 東海林裕子(20回) 藤岡美緒(39回)  
 99.11.28 藤ヶ丘カトリック教会
- ・アンサンブル フィオレッティコンサート  
 深澤ひろみ(24回) 関島由起子(24回)  
 渡辺康子(25回) 他共演 -宇田川直夫(gamb.)  
 永田平八(lute) 能登伊津子(org.)
- ・グroupe'75 10thコンサート  
 岩崎ひとみ・内田恭子・梅原三代子・柏木百合子  
 桐原綾・高原容子・村瀬千枝(以上28回)  
 99.12.5 ひまわりの郷
- ・細木朝子ピアノリサイタル 細木朝子(30回)  
 00.2.18 津田ホール
- ・ピアノデュオコンサート 連弾のひととき  
 井上真記子(22回) 上月早苗(23回)  
 00.3.5 サンハート音楽ホール
- ・大島君子ピアノコンサート 大島君子(3回)  
 共演 -渡部基一(vn) 藤村俊介(vc)  
 00.3.9 横浜みなとみらい小ホール
- ・斎藤京子と仲間たち 斎藤京子(34回)  
 共演 -ジェフ・コーン(PI) 佐藤真由(Fl)  
 00.3.21 サントリーホール小ホール
- ・福泉勝栄フルートリサイタル 福泉勝栄(37回)  
 共演 -落合明美(pi)  
 00.3.23 あいれふホール
- ・藤田直子ソプラノリサイタル 藤田直子(32回)  
 共演 -立神鶴子(pi)  
 00.5.18 横浜みなとみらい小ホール
- ・大島富士子&イングマー・ライナーデュオリサイタル  
 大島富士子(28回) 共演 -イングマー・ライナー(pi)  
 00.6.4 王子ホール 6.16 志度音楽ホール  
 6.18 音楽の館ホール
- ・青島陽子ピアノリサイタル 青島陽子(42回)  
 00.6.27 横浜みなとみらい小ホール
- ・中野真帆子ピアノリサイタル2000 中野真帆子(34回)  
 00.7.6 東京文化会館 小ホール
- ・ピアノ五重奏の夕べ 田中真理(24回)  
 共演 -嵯峨真知子(Vn) 松土町子(Vn)  
 清水潤一(Vla) 茂木新緑(Vc)  
 00.7.15 横須賀市文化会館 中ホール

## 後援演奏会について

- 演奏会の後援については次のように定められています。
- 1) 同窓会は、常に向上心にあふれた会員の演奏会を後援する。
  - 2) 後援は、フェリス女学院大学音楽学部同窓会関係者(同窓生、職員他)を対象に行うものとする。
  - 3) 後援の依頼は、所定の用紙に記入の上、演奏会の2ヶ月前までに事務局に提出すること。
  - 4) 後援の許可是役員会に諮り決定され、「後援 - フェリス女学院大学音楽学部同窓会」と、記述ができる。
  - 5) 上記以外に関しては、その都度役員会で決定する。

## 1999年度 Fグループ

### 会計報告

(1999.4.1~2000.3.31)

#### <収入の部>

項	目	予算額	決算額
終身会費		4,500,000	4,200,000
総会会費		200,000	175,000
研修会会費		150,000	211,000
ティータイム会費		50,000	30,000
ジョイント・コンサート		330,000	350,000
宛名シール		15,000	44,880
フェリス祭		25,000	0
雑収入		5,000	33,740
銀行利息		3,000	3,065
小計		5,278,000	5,047,685
前年度繰越金		4,503,627	4,503,627
収入合計		9,781,627	9,551,312

定期預金 12,616,950円

貯蓄預金 856,103円

名簿積立金 1,561,841円

#### <支出の部>

項	目	99年度予算額	決算額
(1)運営費	[962,000]	[781,995]	
会議費	0	0	
印刷費	60,000	48,137	
通信費	0	0	
人件費	343,000	322,000	
交際費	50,000	36,932	
事務費	30,000	30,301	
出張費	100,000	18,880	
交通費	250,000	261,000	
学生幹事会費	72,000	50,603	
特別委員会	7,000	6,142	
予備費	50,000	8,000	
(2)活動費	[3,446,000]	[2,725,821]	
総会関係費	900,000	688,274	
研修会関係費	360,000	414,923	
ティータイム関係費	140,000	139,887	
会報関係費	750,000	718,219	
ジョイントコンサート	300,000	300,333	
リサイタル後援費	100,000	80,420	
支部関係費	500,000	327,170	
慶弔関係費	200,000	56,595	
フェリス祭	70,000	0	
予備費	126,000	0	
(3)諸会費	[670,000]	[2,370,000]	
全同窓会会費	70,000	70,000	
FS維持協力会	300,000	300,000	
130周年募金	300,000	2,000,000	
(4)積立金	[200,000]	[200,000]	
名簿積立金	200,000	200,000	
その他積立金	0	0	
貯金預金	0	0	
小計	5,278,000	6,077,816	
剰余金	4,503,627	3,473,496	
支出合計	9,781,627	9,551,312	

## 1999年度フェリス女学院全同窓会会計報告

白菊会・リテラ・リベラ・Fグループ

(1999年6月1日~2000年5月31日)

前年度繰越金	1,452,840円
全同窓会会費	280,000円
利息	779円
小計	280,779円
合計	1,733,619円
各支部へ祝儀	60,000円
クリスマス礼拝開連費	143,550円
お祝い(中島・小塩先生)	150,000円
合計	353,550円
翌年度繰越金	1,380,069円
来年度繰越金	1,380,069円

(横浜銀行普通預金)